

1 市の概要

人口	48,292 人
保護率	4.16 %

2 支援状況調査（H30年度）

新規相談受付件数人口10万人当 (件)	一月当たり	21.6
プラン作成件数人口10万人当(件)	一月当たり	3.3
就労支援対象者数人口10万人当 (件)	一月当たり	1.7
就労・増収率(%)		60.0

3 実施方法について

実施方法	委託（単年度契約）
事業費	15,535千円(平成30年度) ※ひとり親家庭生活支援事業費補助金と按分
理由 (委託)	○ 委託業者が、子どもたちの夢と未来をつなぐ、出会いと挑戦の教育をつくることを目的に活動している団体であり、愛知県の寺子屋塾、キャリア教育コーディネーター育成などの委託事業や、インターンシップの仲介を実施するなど、学習支援の経験やノウハウを十分に持っているため。
事業概要	○ 生活困窮世帯(生活保護・就学援助受給世帯など)またはひとり親世帯の小学4年生～高校生等に対し、学習の機会や居場所の提供を行うことで、基本的な生活習慣の習得及び学習習慣の定着を図る。 ○ 支援体制：委託業者、子ども健全育成支援員2名(市職員)チャレンジパートナー(学生等)、食事提供ボランティアなど ○ 子どもの成長に応じ、進学や就職、中退防止等、状況に合わせた支援を行い、子どもが希望する進路へ進み将来的に自立できる力を育むことで、貧困の連鎖の防止を目指す。 ○ こども食堂及び市民ボランティアと連携し、食事提供を実施。 ○ 実施日等：小学生 木・土曜 第1・3・5週 9:00～12:00 (原則) 第2・4週 13:00～16:00 中高生 土曜 9:00～16:00 (いずれも長期休暇期間中は火・木・土実施)
その他 特記事項	○ 平成30年度から、ひとり親家庭に対する学習支援事業と統合し、併せて支援対象を小学生から中学生等までに拡大。

4 事業実績（H30年度）

	開催回数	登録者数	延べ参加者数	学生ボランティア 延べ参加者数
小学生	106回	12人	514人	65人
中高生	62回	43人	1,057人	264人

【登録者の内訳(30年度末時点)】小学生:12人 中学生:23人 高校生:20人

5 事業実施のポイント

【地域ぐるみで子どもたちを支える取り組みを実施】

- 学習面の支援にとどまらず、生活状況や進路等の相談、希望する進路へ進むための目標設定等、子どもの状況にあった支援を行っている。
- 学校やまちづくり協議会等に協力を依頼し、顔の見える関係を構築。
- 食事提供や行事、講座等に地域の方に協力いただき、地域一丸となって子どもたちを支えることで、子どもたちに地域の一員という意識を養うとともに、将来的には支えられる側から支える側として参加してもらうことで、「貧困の連鎖」の防止を図る。 ※ 協力関係機関 17か所



【参加者・保護者の声（抜粋）】

- 学習に前向きになり、年代問わず話せるようになった。
- 通う前は成績やテストの結果に関心がなかったけど、通ってから成績やテストの結果も大切だと感じた。異世代の人々と話せるようになった。
- 多くの人との交流を通じ、子どもが人に何かをすることの大切さ等、大切なことを学べる場だと思います。クリスマスの話など、親の私でも感動したりします。これからもずっと続けてほしいと思います(保護者)。

6 取り組んで良かったこと

- 子どもの貧困について、学校・福祉部局・地域が問題を共有し、「我がこと」として一体となって対応できるようになった。